

標茶町立中茶安別小中学校の 学校林活動を支援

10月30日（水）、標茶町立中茶安別小中学校の学校林で、児童生徒26名が参加して「秋の学校林活動」が実施され、当ふれあいセンターからは、職員4名が講師として参加しました。

開会式の後、実のなる木が、ネズミの食害に遭わないよう、根元にペットボトルを設置するとともに、雪の重みに耐えられるよう、竹の支柱を設置しました。

次に、鳥の巣箱の利用状況を確認しながら清掃を行ったところ、二つに利用した痕があり、さらに孵化していない卵も発見したことから、子ども達からは、驚きの声が上がっていました。

最後に、樹木に関する問題を解きながら散策する「クイズウォーク」を行いました。樹木の葉や実が落ちてしまい、一部、難しい設問となりましたが、中学生がまとめ役となり、木の周りや地面を熱心に観察しながら、問題を解いていました。

当日は、少し動くと汗ばむほどの陽気に恵まれ、今年最後の学校林活動を無事、終了しました。



▽ 冬囲い設置の様子



▽ 「クイズウォーク」の様子